

【第2号】

令和3年10月25日発行
刊行物登録番号2021-143

調布市郷土博物館

☎042-481-7656

✉kyouhaku@w2.city.chofu.tokyo.jp

みんなで育む・感じる・発見する縄文のふるさと 国史跡下布田遺跡 史跡整備ニュースレター

下布田遺跡とは？

調布市布田6丁目に位置する下布田遺跡は、数少ない関東地方の縄文時代晩期（約2800年前）の遺跡で、縄文時代から弥生時代に移り変わる複雑な社会構造を明らかにするうえでも重要な遺跡として、国史跡に指定されています。昭和38年から現在まで継続して行われている発掘調査の成果とこれまでの経緯を紹介します。

年代	調査の概要
昭和38(1963)年	都立三鷹高校による発掘調査。多量の縄文晩期土器片が出土。
昭和39(1964)年	國學院大學久我山高校による発掘調査。
昭和43(1968)年	旧都立武蔵野郷土館(現江戸東京たてもの園)による調査。国重要文化財に指定(昭和54年度)されている「土製耳飾」が出土。土偶・土版といった土製品のほか、石鏃390点をはじめとした2000点を超える石器が出土。
昭和43(1968)年	久我山高校による発掘調査(3回目)。石棒祭祀を物語る「石棒集積遺構」を検出。
昭和54(1979)年～55年	調布市教育委員会による範囲確認調査(昭和54年度)。縄文時代晩期の遺物集中地点とともに、合口土器棺墓1基、配石埋甕墓1基などが発見され、晩期の遺構が東側の段丘高位面まで分布していることが明らかになる。
昭和56(1981)年	4000点を超える遺物とともに、晩期中葉の方形配石遺構が見つかる。
昭和62(1987)年	これまでの調査成果より、関東地方における縄文時代晩期を代表する遺跡として国史跡に指定される。
平成15(2003)年	範囲確認調査。低地部の晩期包含層で多量の炭化物粒と少量の白色粒(骨粉)を含む。地下水の滲出があり、自然木の枝材が出土。
平成16(2004)年	宅地造成に伴う確認調査。湧水由来の旧流路が検出され、低地部においても何らかの土地利用があったことを想定させる出土状態を示すものがみられ、追加指定の契機となった。
平成17(2005)年	昭和53～57年、平成14～16年の調査成果を受け、史跡東側と低地部が追加指定される。(第1回追加指定)
平成23(2011)年	新たに遺構の広がりが確認された史跡北側及び南側が追加指定される。(第2回追加指定)
平成26(2014)年	史跡中央部の生産緑地地区の内容確認調査。縄文晩期の遺物包含層が確認された。
平成27(2015)年	平成26年の調査成果より、史跡中央部の生産緑地地区を追加指定。(第3回追加指定)
平成29(2017)年	平成29年度範囲確認調査。昭和43年・昭和46年の調査区の正確な位置確認と遺構確認状況の再検証。
平成30(2018)年	平成30年度範囲確認調査。昭和56年度に実施した範囲確認調査で発見された方形配石遺構の現況の把握。
令和元(2019)年	令和元年度範囲確認調査。方形配石遺構に近接する部分の調査。晩期の土器が多量に出土。
令和2(2020)年	令和2年度範囲確認調査。低地部の土壌サンプル採取のための調査。籃胎漆器が出土したほか、植物サンプルの分析から当時の植生が明らかになった。



土製耳飾

江戸東京博物館の特別展
「縄文 2021 - 東京に生きた縄文人 -」(10/9～12/5)にて展示されています！



方形配石遺構



現在の下布田遺跡の様子

昨年度の史跡整備に向けての取り組み・史跡整備市民ワークショップ

下布田遺跡の整備計画に市民意見を反映するとともに、下布田遺跡への関心を高めつつ、これからの市民連携のきっかけづくりとすることを目的に、令和2年9月～10月にかけて、3回のワークショップを行いました。今後も継続して下布田遺跡の認知度を高め、整備への活発な意見を取り入れていくためのワークショップを行っていく予定です。

ワークショップの開催概要

第1回 9月5日	下布田遺跡・ 郷土博物館分室	●下布田遺跡の植生を考えよう	遺跡の概要の説明と現状視察
第2回 9月19日	東京都埋蔵文化 財センター	●遺跡公園の植物について学ぼう	整備されている縄文植物園の事例見学
第3回 10月4日	調布市教育会館	●下布田遺跡の植生整備と活用について話し合おう	整備案についてのグループワーク

第3回ワークショップでの主な意見

①植物について

- ・縄文時代の環境の再現と当時の利用と結びついた活用
- ・縄文にこだわらず調布の生態系を視野に検討してほしい
- ・管理基準を作ったほうがよい

②史跡公園に必要な設備

- ・ベンチ・駐車場・トイレなどの便益施設、土器焼等の作業場・水場
- ・わかりやすい解説板
- ・スマートフォンと連動したデジタル情報提供
- ・駐車場の確保

③近隣住民への配慮

- ・騒音やのぞき見など夜間利用等の防犯面は、近隣住民との定期的な対話が必要
- ・災害時に利用できる（一時避難場所）
- ・管理方法（開放or閉鎖）についての検討



④遺跡公園でやりたいこと

- ・縄文祭り、縄文時代の生活体験、学習会、自然観察、ボランティア設立、縄文検定など

⑤その他

- ・学校教材、マンガを使ったパンフレット、先進事例の視察
- ・周辺遺跡との関連付けの説明・案内板の設置

詳しくは、右のQRコードから『東京都調布市 史跡下布田遺跡整備基本計画』をご覧ください。



下布田遺跡と同じく国史跡に指定されている深大寺城跡についてパネル展「深大寺城を図解する」を郷土博物館ロビーにて行っています。深大寺城跡の構造について図や写真から紐解く展示となっております。秋の散策として現地（都立神代植物公園水生植物園内）も訪れてみてください。

深大寺城跡を
さらに知りたい！

(調布市ホームページにリンクします)



ただいま開催中！

